

平成30年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
1	ミモザ音楽サークルon ♪coro	音楽ボランティア	音楽イベントを企画します。公民館・市民センター・老人ホームなど。お客様の年齢に合わせて皆さんができるだけご存知の曲を用意して演奏。楽器はハンドベル・ケンハモ・ピアノ・バイオリンなど。ハンドベルは誰にでも簡単に演奏していただける楽器なので、コンサートの中に体験コーナーを作り皆さんにも演奏していただいています。 懐かしい童謡などをハンドベルと歌とピアノで演奏すると会場に一体感が生まれ、感動的な温かいコンサートをお客様と一緒に作り上げることができます。	スタート支援	95,122	95,122	聴くだけでなく、参加者が一緒にハンドベルなどで手軽に参加できる音楽イベントとして先駆性を感じます。高齢者や障がい者にも扱いやすいトーンチャイムを用いるなどの工夫もされ、多くの方に参加してもらいやすい工夫が見られます。共感者を増やし長く活動を続けていられることを期待します。
2	古江台つながりプロジェクト	おうち食堂	一人で食事をして寂しい思いをする子供たちが一人でもいなくなるように、小学生を対象として、食事の提供を行う。	スタート支援	83,500	42,550	地域の子供の「孤食」を防ぐ試みとして、有意義な活動であると感じます。食を通して、地域の子供の見守りにつながる活動でもあり、「おうち食堂」が、子どもたちだけでなく家族や地域全体に寄り添う温かな場所になることを望みます。今後は先に活動を始めている団体を参考に地域の様々な団体との連携をすすめ、多くの方の協力が集まるような仕組み作りを望みます。特にアレルギー対策や運営面での工夫など、情報交換の必要性を感じました。なお、食材やお茶などは参加費で賄えるよう検討してください。申請額のうち食材料費については参加費で賄うものとし、減額して交付します。
3	「人の輪と心を育む」ひまわり教室	聴覚障がい児の保護者及び聴覚障がい児者支援事業	聴覚障がい児(乳幼児から)の保護者や聴覚障がい当事者が集まり学び合う場を企画。きこえない人との出会いや当事者の縦横の交流は将来の見通しにつながり、聴覚障がいを肯定し、人との関わり方やコミュニケーション、生き方などを学ぶ機会になっています。声と手話での絵本の読み聞かせ「ふうちゃんのでのひら絵本」は聞こえる人と聞こえない人が自然につながる楽しい場です。悩みをいつでも相談できる場所で困ったときの駆け込み寺の役割もしていますので、遠慮なくお越しください。	自立支援	160,000	120,000	聴覚障がい児やその保護者が縦横につながり、交流を通して見通しと自信の持てる子育てができるよう、活動の範囲は聴覚障がい児やその保護者の支援や相談に留まらず、聞こえる人と聞こえない人をつなぐ場作り及びます。障がいのある人もない人も共に暮らす社会を目指し、積極的に活動を広げ取り組まれる姿勢に敬意を表します。自立の方向性として会員制に取り組みはじめていた点も評価します。なお、今回の申請は継続事業と判断させていただきました。
4	吹田ホスピス市民塾	(がんの予防と検診)講演会	12月16日(日)13~16時、メイシアター中ホールで(がんの予防と検診)講演会を中山富雄氏(国立がん研究センター 社会と健康研究センター 検診研究部長)を講師に迎えて開催。ユーモアにあふれた、分かりやすいお話を。なお、ミニコンサート(ゴスペル)もお楽しみいただけます。	自立支援	150,000	150,000	「がんになっても安心して暮らせる、吹田のまちづくり」を目指して活動されており、早期治療の情報発信・がん患者、家族の相互交流等を推進されています。ホスピスという行政・医療界でも大きく取り上げることが少ないテーマを、市民グループとして長年取り組まれており、貴重な団体と感じています。がんに対する市民の関心は決して低くないと思われます。講演会の広報に工夫をされ、多くの方々に参加いただけるよう期待します。
5	特定非営利活動法人 すいた体験活動クラブ	児童たちが校庭の一角で「二毛作」と「地産地消」を実体験する学習支援事業	都市化がすすむ吹田市内10校の小中学校で、5年生児童947人が、校庭でミニ田んぼをつくり、一年を通して稲作とタマネギの栽培の農作業に取り組み、授業で学ぶ「二毛作」と「地産地消」を実体験する。また、田んぼに集まる虫や鳥などの野生の生きものの観察を行い、学びが広がる体験学習を支援する事業です。	自立支援	150,000	150,000	長年の活動が、児童の学習支援事業として認知され高く評価されていると感じます。積極的に民間の補助金や助成金を活用し、活動の継続性を担保されていることに敬意を表します。今後も体験学習を通して、子供達に自然の大切さを伝えてください。
6	吹田市聴言障害者協会	手話等交流カフェ	手話交流カフェを月1回開催し、手話でおしゃべりしたり、情報を共有したりします。数回、外部からゲストを招いて交流企画をします。情報コミュニケーションを保障し、聞こえない人の問題を理解していく事業で、ひとりぼっちの聞こえない人をなくしていきます。そして生活の問題や悩みなどを解決していくきっかけになればと思います。	自立支援	20,000	20,000	聞こえないことで地域において孤立する人をなくすため集いの場をもうけています。情報コミュニケーションを保障するという目的に共感いたします。一般へのアピールも行いながら、必要とする人に必要とされることを届けるため、活動の輪を広げてください。

平成30年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
7	ゆずりは	世代を越え、障がいを超え、誰でも交流できる集いの場事業	つどいの場(ゆずりは)は世代を越え、障がいを越え、誰でも交流できる集いの場です。平日の水木金は障がい者や地域の方々の交流の場として利用いただき、土日祝日はイベントを多数企画します。美味しいコーヒーも準備しています。	自立支援	430,000	368,820	多くの事業により地域の多様性に対応しようという意欲を感じます。それぞれの事業において、参加者が費用を負担することで、団体が自立を目指して活動を進めていることが分かります。しかし、今回の申請は、備品購入(2万円未満含む)に占める割合がかなり多いと感じました。今後の活動の広がりが未知数な部分もあり、今回はすでにスタートしている「作って食べよう会」についての備品購入分について購入を支援することとします。今後は徐々に活動の幅を広げ、地域に溶け込み長く活動していられることを望みます。
8	ママGOGO	情報誌を持ってGO!GO!「ママパスポート」プロジェクト	「ママが元気になれば子どもも元気になる、マチが明るくなる」を理念に活動してきた団体です。身近な安心・安全な情報を当事者目線で届ける“あったらいいな”が形になった子育て情報誌「ママパスポート」を立ち上げます。情報誌には公的施設の情報だけでなく、子育てママたちや地域からの暮らしの情報も掲載します。「ママパスポート」は吹田で子育てをはじめるママを応援する地域のママが作る無料配布の子育て情報誌です。	自立支援	465,000	183,704	「ママが元気になれば、子どもも元気になる、マチが明るくなる」を理念とし、子育てママを支援する事業として、初めての取組みとなる身近な安心・安全な情報を当事者目線で届ける子育て情報誌(季刊誌)の発行は有用な事業と思われます。掲載記事の整合性や配布設置場所の確立などしっかりと取り組んでいられることを望みます。なお、子育てママを支援する前年度事業の一環であるものと思われますが、情報発信の点では強化発展ありと判断し、昨年度と同額を交付するものとします。
9	特定非営利活動法人すいた環境学習協会	樹木調査と名札かけ事業	・市内の公園を定期的に調査し主な樹木に名前と分類が解る名札をかける。 ・名札は十分な耐久性を持った手作り品と市販品の2種類を採用する。 ・名札は常に美しさを維持するために日頃から点検・補修を行う。 ・市民に対し定期的に公園ガイド(樹木観察会)を行い樹木に親しんでいただく。 ・公園ガイドは「花とみどりの情報センター」との共催で行う。	自立支援	160,000	160,000	会員による樹木の名札作り、名札かけに留まらず、公園ガイドをとおして市民に身近な自然を感じる機会を提供していることに共感します。特に子供を含む若い世代に関心を持ってもらえるイベントとして参加者が増加し、多世代交流の場となっている点を評価いたします。積極的に民間の補助金や助成金を活用し、活動の継続性を担保されており、今後とも行政の緑化推進事業に寄与することと期待します。
10	片山・岸部ブロック介護者支援の会	片山・岸部ブロック介護者支援の会	男性介護者料理教室の参加者の方がぼつりと「皆さんとご一緒させて頂き、一人じゃない事が分かり、少し勇気が出たように思います。これからも頑張りますので宜しくお願い致します。」この言葉がこの片山・岸部介護者支援の会の結成を決定。要介護・要支援になったとしても介護する側になったとしても、人としての尊厳が、そして希望のある日々の暮らしが守られなくてはなりません。片山・岸部介護者支援の会は、介護者が地域の仲間達と共に励まし合い助け合って暮らすことが出来る「地域づくり」に貢献して参ります。	自立支援	369,000	319,000	孤立しやすい男性介護者を支える仕組みづくりに先駆性を感じます。イベントの開催やマップ作り、カフェなど多岐にわたった活動は、精神的・肉体的負担の多い介護者にとっての拠り所となるものと期待しています。「カフェ実施時ののぼり旗」を予算に盛り込まれていますが、対象となる介護者に確実に広報できる方法を検討し実行するほうが効果的と思われます。介護者の手に渡りやすい所へのチラシ・会員申込書の設置や配布を検討し、わずかでも参加費を集めることで自立が進めば、長期的にわたる介護者への支援が可能となると思います。今回は、「カフェ実施時ののぼり旗」の作成費用は補助対象外とし、減額して交付します。
11	吹田市認知症カフェ交流会	若年性認知症いきがいサポーター養成事業	若年性認知症の方のしたいこと、できることを発見し、サポートできる人材を育成する。短期集中的に研修会を開催し、居場所作りの重要性や若年性認知症の人を支援するための制度について認知症サポーター養成講座の修了者に対し研修並びに実習する。	自立支援	85,470	85,470	若年性認知症に特化した活動に先駆性を感じます。なかなか社会での理解が進んでおらず、また行政や地域包括支援センターだけでは、まだまだ取り組まれていない分野だと思います。また、認知症サポーターの新たな活躍の場を提供することで、社会の中で若年性認知症の理解が進むことを期待いたします。
12	特定非営利活動法人すいた市民環境会議	大木調査PartⅢ報告書作成	2017年度の1年間かけて調査した大木1709本をデータブックにする。単にデータだけを並べるのではなく、見て楽しんでほしい、大木の良さを再認識してもらえるよう冊子で報告し、ネット(ホームページ・ブログ)に写真やデータ、また動画などをのせ誰でも見ることができるようにする。	自立支援	500,000	226,400	地道な活動が実を結び前回の調査を成し遂げられたものと思います。身近な自然が失われていく中、貴重な活動を行っておられることに敬意を表します。今後は長年の調査の記録を生かし、大木の健康カルテのように今後予想される樹木の高齢化に対応できるような継続した活動につながることを期待いたします。なお、今回は昨年度調査の成果物の発行で継続事業と判断し、減額して交付します。

平成30年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
13	わたしにできることプロジェクト	語り合おう介護の魅力～あなたの笑顔に癒される～	介護・福祉に関する発表会を行っています。メンバーは吹田市内の介護施設で働くごく普通の介護職員です。日々の楽しかった・嬉しかったことや悲しかったことなど、そばで共に生きて、感じたことを職員や家族の言葉でお話し、施設での暮らし・そこでの日常などを感じて頂きたいです。只の発表会だと退屈ですし、幅広い年齢の方に興味を持っていただきたいと思い、楽しいイベントや出し物を行う予定です。	自立支援	58,800	49,129	この活動が介護者同志の連携や福祉の現場の理解につながることを感じます。認知症サポーター養成講座を組み込んだことで、参加者の増加につながるなど工夫された点が良かったです。今回も継続事業と判断し、交付額の決定を行いました。
14	SA国際ふれあいの会	「小学生と外国人との交流授業」	吹田市立小学校での「小学生と外国人との交流授業」は阪大や関大の留学生、大阪日本語教育センター留学生、在日外国人がパワーポイントで日本語による自国の文化、風習、学校制度などを紹介しています。児童による日本の伝統遊びの紹介もあり、一緒に遊びます。そのあと各教室に分かれて給食を留学生と一緒に頂きます。クラスが4クラスあれば留学生4人、スタッフ4人が同行します。	自立支援	44,000	35,200	吹田市内の小学生と外国人留学生との交流授業を行い、外国の社会、文化を正しく理解し、お互いに信頼できる国際関係を築くための一助としての取り組みをされております。学生の出身国もアジア、中東、アフリカと多岐にわたり多彩で、子供達には、世界の国々に興味を持ち、異文化への理解も高め、語学学習のきっかけ作り等の効果も目指しております。今回の申請は昨年度事業の範囲内のものと思われるため、継続事業と判断させていただきました。留学生とのコラボレーションにも力を入れていただき、今後も引き続き活動していけることを望みます。
15	世界の料理教室 ピロギ・ジャパン	多文化共生事業	外国人住民(主に主婦)を講師として、その国の家庭料理を教える会員制の料理教室を開催する。ただ料理の作り方を学ぶだけではなく、日本語でコミュニケーションをとりながら交流することにより、様々な国の食文化についても知ることができ、お互いの親睦を深めることもできる。また、会員以外の一般市民を対象にした多文化共生理解イベントも企画実施も進めていく。	自立支援	60,000	60,000	食をとおして外国人と日本人が市民レベルで交流し、お互いの文化を知るきっかけになっています。また、外国人住民の社会参画を積極的に支援することで、誰もが活躍できる地域社会を実現することに寄与していることを評価いたします。今後の活動に期待します。
16	特定非営利活動法人健康開発倶楽部	年齢・障がいの区別なく健康維持・増進を支援する「ノルディックウォークのすすめ」	・初心者ノルディックウォーキング講習会、体験会(医療、健康、リハビリ等に関する相談会を含む) ・定例会としてのノルディックウォーキングイベントの開催 ・地域でのコミュニティーづくりの為に交流会の開催	自立支援	90,000	80,000	「健康すいた21」(第2次)の中でも、健康維持・増進のため年齢に関わらず運動を習慣づける事を提唱しています。他の団体にはない先駆性を持ち、活動の推進の為に指導者づくりを行い、地域での活動の広がりに工夫してください。なお、イベントでの景品に関しては参加費で賄うものとし、減額して交付します。
17	特定非営利活動法人吹田市民NPO	「集いとふれあいの居場所づくり」	・「輪と和のカフェ」では日曜日にあらゆる世代の人が自由に集い、お茶を飲みながらお喋りをしたり、庭を散策したりして集う場を提供。月に1～3回程度は様々なイベントを実施したり、貸室として地域のグループ活動の支援もしている。 ・「地域ふれあいサロンほのぼの」では、毎月1～2回に(主に金曜日)浜屋敷にて昼食サロンを実施。手作りの食事を提供し、歌や腹話術等を楽しむ場をつくっている。	自立支援	500,000	200,000	空家を上手く活用し、多世代間での居場所づくりを行うことにより、認知症の方やその家族、高齢者の方々との交流が深まるように努め、活動への関心の流れをつくり、継続していく活動を目指しております。そのことにより地域で孤立する人を一人でもなくしたい、とがんばって色々な企画運営をされているのは大切なことで、今後の発展に期待します。 「地域ふれあいサロンほのぼの」の事業については、過去に5年間補助金の交付を受けた実績がありますので補助対象外とします。従前の「輪と和のカフェ」の事業のみ対象とし、継続事業として減額して交付します。
18	NPO法人ワーキング・ママ	土日祝における低学年向け学童保育事業	土日祝でも勤務する必要がある保護者のために、保育士や教員免許を保持していないが、研修を受けた同じ地域に住まう子育て経験のある主婦やシルバー世代が有償ボランティアとして、児童の預かり対応を行うことで、地域全体で子育て世帯を支える仕組み作り。	自立支援	500,000	68,120	働き方が男女ともに多様化する中で、土日の低学年児童の安心・安全を守るため、学童保育事業は地域のニーズがとても高いと感じます。今後も多くの子どもたちとその家族からの需要は増える可能性があるかと予測できますが、前回からの継続事業と考え、交付額の決定を行いました。